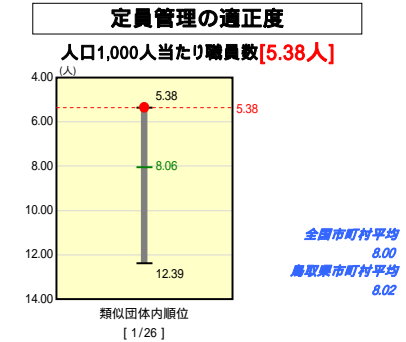
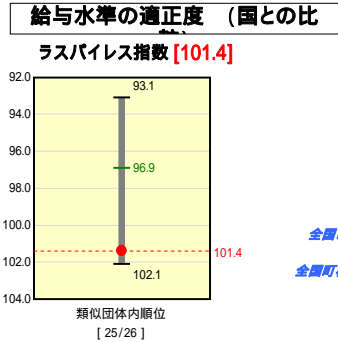
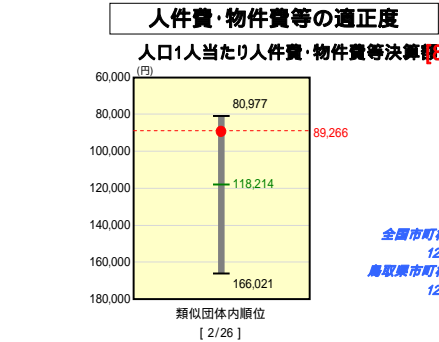
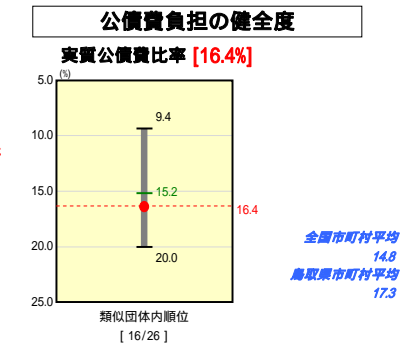
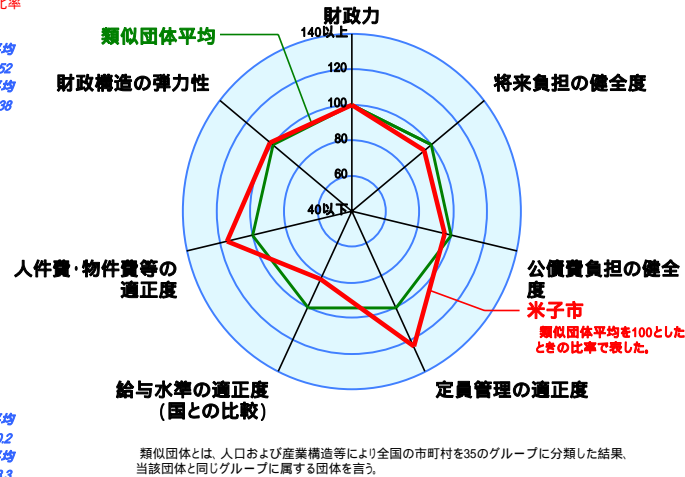
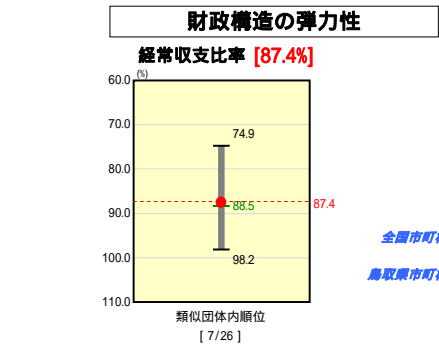
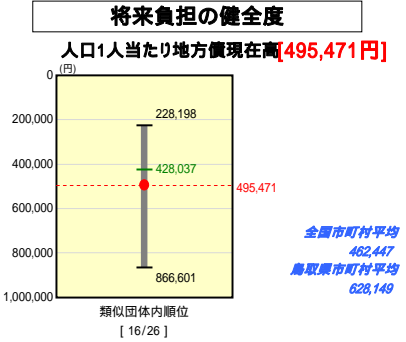
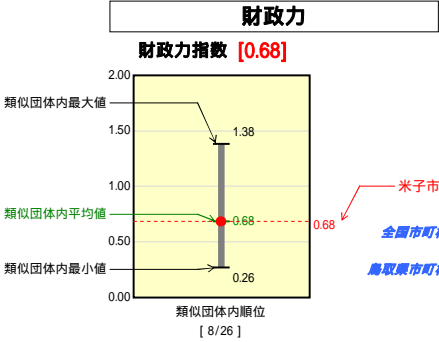


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

鳥取県 米子市

人口	150,199	人(H18.3.31現在)
面積	132.21	km ²
歳入総額	54,287,585	千円
歳出総額	53,894,485	千円
	217,767	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数...米子市は類似団体平均と同じ0.68である。前年度と比較すると0.678から0.687へとやや改良したものの、行財政改革を確実に実行することにより、歳入規模に見合った財政構造への転換を図り、財政の健全化を推進する。

経常収支比率...地方譲与税、地方交付税の増や市税収入の増等により経常一般財源が増加したため89.6%から87.4%へと改善した。

ラスバイレス指数...国に準じた給与構造の見直しを行っており、今後、給与水準は引き下がる見込みであり、当面は、平成19年度から平均3.16%の給与減額措置を実施している。

実質公債費比率...鳥取県西部地震災害復旧事業、クリーンセンター建設事業に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。プライマリーバランスの黒字化を継続するとともに、大規模投資事業等による新たな借入れを抑制する。

人口1人当たり地方債現在高...類似団体平均をやや上回っている。主な要因としては、クリーンセンター建設事業があるが、新規発行債の抑制を行い、財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数...全国平均を2.62人下回り、類似団体中最も少ない職員数となっているが、今後も定員適正化計画を推進し、平成21年度までに57人以上を削減する方針である。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額...人口1,000人当たりの職員数が類似団体中最も少ないことにより、人件費が少ないことが要因であるが、今後ともコストの低減を図っていく方針である。